

# 現教だより 2

H17・6・8

## 6年算数少人数授業 「分数のたし算とひき算」の実践を通して

### 1 本時のねらい

《どンドンコース》（6 / 9時間目）

- ・ 液量に表すことを通して、分母の違う分数のたし算は分母をそろえればよいことを理解し、計算することができる。

《じっくりコース》（7 / 9時間目）

- ・ 異分母分数のひき算で、式と結んで液量を区切る活動を通して、分母を最小公倍数で通分するとよいことが分かり、正しく計算することができる。

### 2 討議を通して明らかになったこと

#### (1) 算数科教材として

- ・ 本単元について

4年 単位分数のいくつ分、	5年 同分母分数の加減、分数 少数、整数 分数
↓	
6年 約分、通分	異分母分数の加減（本単元）

\* 約分・通分の意味や方法をしっかり抑えておくことが大切！ どうして分母が6になるのか。

- ・ じっくりコースの子どもたちも解決の手助けとなる教具が良く工夫されて分かりやすかった。  
色のついた液量図      めもりのついた透明シート      など。
- ・ 通分しても大きさは変わらないことの扱いが、大变的確でよかった。

$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6}$
---



T 「本当に、これ=でつなげていいの？」  
S 「もとの数1に対しての大きさは同じだからいいよ」  
T 「前に学習したことが出てきたね。」

#### 既習内容の確認

分数に同じ数をかけても、同じ数で割っても 分数の大きさは、変わらない。
--

- ・ 約分のある練習問題を扱ったこと  
どンドンコースの子どもたちには、約分のある問題を取り扱った方が、「分数計算も奥が深いんだ。」  
「答えが約分できることもあるんだ。気をつけよう」と新たな課題になってよかった。

#### (2) 指導全体として

- ・ 思考力を助け、学び方を育てる助言が工夫されていた  
 (資料提示) 「何か気が付いたことはありますか？」  
 「図で考えると解けそうだね。」  
 「さんは、一生懸命考え方の説明を書いているよ。」  
 「君も、余った時間で言葉で説明を付け足しているよ。これだと上手く説明できるね。」  
 「さんの説明、分かりましたか？では、次の人の説明とどこが違うか良く聞いて下さい。」  
 「3人の説明の中で、同じところがあったね。どこが同じだったか言えるかな？」  
 「(考え方)はみんな同じでしたが、~~(式の書き方)が違っていたね。」  
 「前に学習してきたことが出てきたね。  
 『通分しても分数の大きさは変わらない』のだったね。じゃあ、何が変わったの？」
- ・ 児童のコース選択

少人数指導の良いところはじっくりコースの子どもたちも自分の考えを臆せず言えること。  
リードする児童も必要。じっくりの中で新たな活躍する児童が生まれてくるのでは？

・ 補充・発展問題プリントの開発

授業終末に今日の学習を振り返らせ、自学の課題を自覚させるとともに、下記のような何枚かの問題プリントを用意し、子どもたちが自己目標に応じた自学に取り組みやすいように工夫されていた。

**考える力をつけよう**

**とんとんプリント 1**

6年 組( )

とんとんコース

①  $\frac{3}{4} + \frac{5}{8} = \text{---} + \text{---}$


通分をして計算しよう。  
全問正解をめざして  
スタート！

②  $\frac{1}{6} + \frac{7}{9} = \text{---} + \text{---}$

③  $\frac{2}{3} + \frac{2}{15} = \text{---} + \text{---}$

④  $\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$

最後までできたら必ず、見直しをしよう。  
見直しができたら、○をつけよう。  
【     】



**発展させよう**

**とんとんプリント 2**

6年 組( )

とんとんコース

これが全問正解なら、分数のたしざんは、完ぺきだ。

①  $\frac{1}{2} + \frac{2}{7} =$

②  $\frac{2}{7} + \frac{3}{5} =$

③  $\frac{1}{3} + \frac{3}{5} =$

④  $\frac{1}{9} + \frac{7}{18}$

⑤  $\frac{1}{40} + \frac{1}{60}$

⑥  $\frac{1}{3} + \frac{5}{12}$

⑦  $\frac{11}{40} + \frac{5}{8}$

最後までできたら必ず、見直しをしよう。  
見直しができたら、○をつけよう。  
【     】

- |   |   |
|---|---|
| <p>* 「～の計算のやり方(考え方)をもう一度おさらいしたい。」<br/>「～の計算がまちがいないできるようにしたい。」</p> | <p>補充課題<br/>「確かなものにしよう」<br/>「考える力をつけよう」</p> |
| <p>* 「～よりもっとむずかしい問題にチャレンジしたい。」<br/>「～も……の方法で解けるか調べてみたい。」</p>      | <p>発展課題<br/>「発展させよう」</p>                    |